

平成 29 年 3 月 9 日

鎌倉市長 松尾 崇 様

鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会  
委員長 国吉 直行

### 鎌倉市本庁舎整備方針について（提言）

当委員会は、鎌倉市役所本庁舎の整備方針の策定に関する提言を行うことを目的に、鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会条例に基づき、市長から委嘱を受けた委員それぞれが、専門的な知識やこれまでの鎌倉での公共的な活動等を通じた全市的な視野に立ち、また、方針策定に関する客観的な評価軸を設定するなどして、昨年 8 月開催の第 1 回からこれまでの委員会において、慎重に議論を重ねてきました。

こうした経緯を経て、当委員会は、別添「鎌倉市本庁舎整備方針（提言）」のとおり、新しい本庁舎の整備にあたっては、市民の利便性向上などのほか、市民の安全安心を守る防災拠点として充実させることを重視し、また、敷地の持つ制約（土地利用規制や周知の埋蔵文化財包蔵地であることなど）や建設コストなども考慮し、現在地からの移転を選択した整備方針を提言します。

また、審議の過程において、各委員からの活発な発言による議論が重ねられましたが、当委員会は、整備方針策定に関する提言を目的としていることから、これまでの議論を踏まえ、整備方針策定後の取組に係る次の各項目について、参考意見として付することとしましたので、今後の取組に当たり配慮されるよう努めていただきたい。

併せて、市長におかれましては、次の世代に引き継ぐ新たな本庁舎整備の実現に向け、邁進されるよう期待するものです。

#### 1. 移転候補地について

新たな本庁舎の整備には多額のコストがかかることから、その移転先については市有の用地とするなど、用地取得のための新たな負担を要しない前提で、検討を進めることを要望いたします。

また、市民の安全安心を守る防災拠点の充実のためにも、津波による浸水や土砂災害の危険性がなく、将来の鎌倉市の都市拠点の一つでありながら、大規模な公園等のオープンスペースの整備の予定があり、大船消防署（消防本部）及び深沢消防出張所の集約化先となっている深沢地域整備事業用地は、効果的な防災拠点の形成の可能性を持っていることから、当該地を中心に検討を進められることを要望いたします。

## 2. 進め方について

新たな本庁舎の整備にかかるコストについて、その縮減や財政負担の軽減のために、本庁舎の移転に関連させた更なる公共施設の集約・複合化の検討やPFI等の事業手法を積極的に検討し、活用して進めることを要望いたします。

首都直下地震などの大規模な災害が迫っているとされていることから、本庁舎における防災的な課題等の解決のため、本庁舎の移転整備を速やかに進めることを要望いたします。

また、新たな本庁舎を整備することによって防災中枢機能が十分に発揮できる体制が整うまでの間も、市民の安全安心を守ることは鎌倉市の責務であることから、現在の本庁舎の機能維持や防災対策についても堅実に取り組まれることを要望いたします。

なお、これまで、鎌倉市では市民ワークショップ、市民対話を実施されてきたように、今後も市民・地域との協議プロセスを大事に取り組まれることを要望いたします。

そして、本庁舎整備が、行政、市民、民間の役割を再考する機会になり、新しい行政運営やまちづくりの実現につながることを期待しています。

## 3. 移転後の跡地（現在地）について

前述した本庁舎の移転整備に関するコストの縮減などに併せて、移転後の跡地の利活用について、鎌倉地域の公共施設の再編やPPP（官民連携）による民間活用の事業手法などを取り入れることで、公共施設の更新にかかるコスト縮減や財政負担の軽減を図りながら進めるとともに、鎌倉地域にある貴重な市有地であることを活かして移転先との相乗効果を生むような魅力あるまちづくりや施設整備誘導の検討を進めることを要望いたします。